

幼児教育・保育の無償化が始まります

■幼稚園、保育園、認定こども園、地域型保育(小規模保育・家庭的保育)など

- 幼稚園、保育園、認定こども園などを利用する3歳から5歳までの全ての子どもたちの利用料が無料になります。
- 0歳から2歳までの子どもは、住民税非課税世帯は利用料が無料になります。

■幼稚園の預かり保育

- 対象となるためには、お住まいの市に事前申請を行った上で「保育の必要性の認定」を受ける必要があります。
- 認定を受けた場合は、幼稚園の利用に加え、利用日数に応じて、最大月額11,300円までの範囲で利用料が無料になります。

■認可外保育施設など

- 対象となるためには、お住まいの市に事前申請を行った上で「保育の必要性の認定」を受ける必要があります。
- 3歳から5歳までの子どもたちは月額37,000円まで、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもたちは月額42,000円までの利用料が無料になります。
- 一時預かり事業、病児保育事業、ファミリーサポートセンター事業も対象です。



問 幼児施設課(東庁舎) ☎71・2328 FAX72・3788

鉄道駅についても、甲西駅、三雲駅のバリアフリー化が終了し、これから石部駅へと対応していきます。災害時の避難所ともなる学校施設についてはすべて耐震化が完了し、エアコンの整備も行いました。

合併当初に大きな課題であった道路問題は、国道1号バイパス(石部大橋)、名神高速道路栗東湖南IC、甲西橋架替え、県道竜王石部線、菩提寺バイパス、市道南部中央線、市道三雲駅南線など、格子状に道路を配することにより大きく改善しました。

この15年の間には様々なことがありましたが、リーマンショックでいったん減少した人口も下げ止まり、このところは増加に転じています。湖南市は誕生して15周年を迎えることができました。これもひとえに市民の皆様のご理解とご尽力のたまものと心からお礼を申し上げます。



防災計画については何度も改訂され、自衛隊や国土交通省、消防など関係機関との連携も確保しています。

老朽化する水道設備の布設替えも進み、下水道の整備率も98%まで広がりました。環境基本計画に基づく地域自然エネルギー利用の取組は全国の先進事例として注目されています。

湖南市が内閣総理大臣表彰を受けた発達支援システムは、今や全国の自治体に義務付けられるようになっています。

当初は学級崩壊や校内暴力で荒れ放題だった学校は、地域の皆様のお力を得て安定し、県内での教員異動希望をお断りするほどになっています。

湖南三山やこにゃん市、十二坊温泉ゆららオートキャンプ場、HATなど、新しい観光のあり方も模索されてきました。

高齢化率は23%を超えましたが、いきいき百歳体操やこなんTHERボイスプロジェクトなど体力や生きがいづくりのメニューも増え、認知症行方不明者の捜索体制も構築しています。

平均年齢も合併時の38歳から44歳へととなった湖南市ですが、皆様とさらに住みやすいまちにしていければと思います。